

施策番号 3-2-1	施策名 安心して生み育てることができる子育て支援	基本目標	誰もが健康で自分らしく笑顔で暮らせるまちづくり			
		政策名	安心して子育てできるまちづくり			
	主管課	子育て支援課	課長名	杉山 ゆかり	内線	168
	施策関係課					

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図					結果
妊娠・出産、子育てに関する悩み・不安の解消と地域社会の理解を深めることにより、まち全体による子育て支援体制の充実を図ります。		町民	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠、出産及び子育てに対する不安や悩みを解消する ・子育てに対する地域社会の理解を深める 					子育ての支援体制が充実し、安心して生み育てることができる
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標	
① 育児が楽しいと感じる親の割合	乳幼児健診アンケート	%	87.6	87.0	87.6	89.0	90.0	
② 安心して子育てができる環境であると思う町民の割合	住民意識調査	%	96.5	87.9	89.0	90.0	90.0	
③								
④								
成果指標設定の考え方	①は、乳幼児健診の際に実施する保護者アンケートの結果を成果指標として設定。 ②は、町民を対象とした住民意識調査の結果を成果指標として設定。 (※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更)							

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費(千円)	398,394	421,675	403,504
人工数(業務量)	11.2733	10.2842	8.2992

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	成果指標①②共に前年度より上昇 →子ども医療費の助成対象拡充や幼児教育・保育無償化等、子育て世帯の経済負担の軽減が要因と考えられる。
②2022年度の目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる <input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	産前産後相談室及び産前産後ヘルパー事業を開始し、妊娠から出産、子育ての悩みや不安を解消する支援体制の充実を図っている。 子育て世帯の経済負担の軽減策を継続する必要がある。
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	子ども医療費給付事業 子育て支援センター運営事業 子育て世代包括支援センター運営事業 発達支援センター運営事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	<ul style="list-style-type: none"> ・「子ども医療費給付事業」→平成31年4月から所得制限を撤廃し、中学生までの医療費の全額助成を行った。 ・「子育て支援センター運営事業、子育て世代包括支援センター運営事業」→妊娠期から子育て期にわたるまでの様々な悩みを相談できたり、必要な支援を受けることができる体制を充実させた。 ・「発達支援センター運営事業」→発達に支援が必要な児童に対し、早期から専門的療育を行い、一貫性と継続性のある支援を行った。 		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

進捗結果	A	B	C	D	E
			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した
- D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した
- E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>◀施策を取り巻く状況▶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化・核家族化の進行により、適切なサポートが得られない不安や養育に悩みを抱える親が増えている。 <p>◀今後の予測▶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯の経済負担の軽減→国や道の動向を注視しながら、町独自支援策の検証。 ・育児負担の軽減→社会全体で子育てを支援する体制の構築。課題を抱える家庭(保護者・子ども)の早期発見と早期対応。
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達支援： 議会一般質問で、新生児聴覚検査費用の助成制度創設について、意見・要望があった ・出産祝い金： ホットボイスで、出産祝い金を望む意見があった。 ・子育て支援： 子育て団体との意見交換会で、行政だけでなく、社会全体で子育てを支援する体制や周知活動の充実を求める意見があった。

5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)

●子育て世帯の経済負担の軽減	<p>妊娠期から子育て期までの検診及び医療費等について、国や道の助成制度を注視しながら、町独自支援策の検証を行う。新生児聴覚検査費用の助成を令和3年4月から実施する。</p>
●相談体制の強化	<p>妊娠から出産、出産後の母子への支援として、産前産後相談室や子育て支援センターの充実を図る。「発達支援システム」による一貫性と継続性のあるサポートを継続する。</p>

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	成果指標は変わらないが総合的に考え、前進したと評価する。	A	B	C	D	E
		進捗結果			○	
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	<p>A: 実現した</p> <p>B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した</p> <p>C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した</p> <p>D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した</p> <p>E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した</p>				

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	「C前進した」と評価する。	A	B	C	D	E
		進捗結果			○	
今後の取組に対する意見	・成果指標が向上している理由として、経済的負担の軽減が要因と挙げられているが、経済的な部分だけではなく、心理的な部分、精神的なソフト面での理由が成果指標向上の理由に上がってくるように取り組んでもらいたい。	<p>A: 実現した</p> <p>B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した</p> <p>C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した</p> <p>D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した</p> <p>E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した</p>				